

二二六九番

今夜の 暁ぐたち 鳴く鶴の 思ひは過ぎず
恋こそ増され

二二七〇番

道の辺の 尾花が下の 思ひ草 今更々に 何か
思はむ

二二七一番

草深み こほろぎさはに 鳴くやどの 萩見に君
は いつか来まさむ

二二七二番

秋付けば 水草の花の あえぬがに 思へど知ら
じ 直に逢はざれば